非常電源設備標準仕様書

１． 非常電源設備の種別

　□　非常電源専用受電設備

　□　自家発電設備

　□　蓄電池設備

　□　燃料電池設備

２．非常電源回路

　□　非常電源回路の配線は，耐火配線とする。

　□　非常電源回路は，他の電気回路の開閉器又は遮断器によって遮断されないものとする。

　□　非常電源回路には，地絡により遮断する装置を設けないものとする。

　□　非常電源回路に使用する開閉器，過電流保護器その他の配線機器は，耐熱効果のある方法で保護する。

　　□　｢配電盤及び分電盤の基準」に適合する配電盤又は分電盤内に設ける。

　　□　JIS C 8480（分電盤通則）に適合する分電盤内に設ける。

　　□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　□　非常電源回路に使用する開閉器には，（　　　　　　　　　　）設備用のものである旨を表示する。

３．耐火配線の施工

　(1)　電線の種類等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種　類区　分 | 耐火電線又はMIケーブル | 耐　熱　電　線 | HIV又はこれと同等のもの |
| 認定番号 |  |  |  |
| 型　　　　　式 |  |  |  |
| 導体サイズ |  |  |  |
| 表示記号 |  |  |  |
| 製造者名 |  |  |  |

　(2)　工事の方法（施工業者　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| □ 金属管工事　　　　□ 可とう電線管工事（2種金属製）□ 合成樹脂管工事　　□ ダクト工事　　□ ケーブル工事 |

　　□　耐火構造の壁，床等に（　　　　）㎜埋設する。

　　□　耐火性能を有する（□パイプシャフト　□ピット）の区画内に布設する。

　　□　厚さ（　　　　）㎜の（□グラスウール　□ロックウール　□けいそう土

□モルタル）で被覆保護する。

４．配電盤及び分電盤

|  |  |
| --- | --- |
| 種　　　別 | □ 専用配電盤　　　　□ 共用配電盤□ 専用分電盤　　　　□ 共用分電盤 |
| 認定の区分 | 　□ 認定品（認定番号　　　　　　　　　　　　　）　□ 第１種　　　　□ 第２種　□ JIS 規格品（JIS C 8480） |
| 形式区分 | 　□ 露出式（Ｔ）　　□ 埋込式（Ｇ）　　□ 埋込式（Ｈ） |
| 製造者名 |  | 製造番号 |  |

　□　耐火構造の壁及び床で区画され，かつ，窓及び出入口に防火戸が設けられた電気室に設ける。

　□　不燃材料で区画され，かつ，窓及び出入口に防火戸が設けられた専用室に設ける。

　□　不燃材料で区画された（□変電設備室　□機械室　□ポンプ室）に設ける。

　□　耐火構造のパイプシャフト内に設ける。

　□　屋外又は主要構造部を耐火構造とした建築物の屋上に設ける。

５．非常電源設備の設置場所

　□　不燃材料で区画され，かつ，窓及び出入口に防火戸が設けられた（　　　）階の専用室に設ける。

　□　不燃材料で区画された（　　　　）階の（□変電設備室　□発電設備室　□機械室　□ポンプ室）に設ける。

　□　屋外又は主要構造部を耐火構造とした建築物の屋上に設ける。

６．非常電源専用受電設備

　　　非常電源専用受電設備仕様

|  |  |
| --- | --- |
| 受　電　方　式 | 　□ 高圧受電方式　　　　□ 低圧受電方式　□ 特別高圧受電方式 |
|  | 形　式　区　分 | 　□ 専用キュービクル　□ 共用キュービクル |
| キュービクル式 | 受電用主遮断装置による区分 | 　□ ＣＢ形　 □ ＰＦ・Ｓ形　□ ＰＦ・ＣＢ形 |
| □　屋　外　用□　屋　内　用 | 認　定　番　号 |  |
| 最大設備容量 | KVA　 |
| 製　造　者　名 |  |
| 製造年 |  |
| 製　造　番　号 |  |
| キュービクル式以外 | 施　工　業　者 |  |

　　　　備考　受電設備単線結線図を添付する。

　　　非常電源専用受電設備の保有距離

|  |  |
| --- | --- |
| 保有距離を必要とする部分 | 保　有　距　離 |
| 配電盤及び分　電　盤 | 操作を行う面 | m  |
| 点検を行う面 | m  |
| 換気口を有する面 | m  |
| 変圧器及びコンデンサ | 点検を行う面 | m  |
| その他の面 | m  |
| キュービクル式の周囲 | 操作を行う面 | m  |
| 点検を行う面 | m  |
| 換気口を有する面 | m  |
| キュービクル式とこれ以外の変電設備，発電設備及び蓄電池設備の間 | m  |

７．自家発電設備

　　　自家発電装置仕様

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 型　　　　　式 |  | 認　定　番　号 |  |
| 製　造　者　名 |  | 製造年 |  |
| 形　式　区　分 | □ 長時間形（Ｗ）　　　□ 即時長時間形（Ｙ）□ 普通形一（Ｕ）　　　□ 即時普通形（Ｘ） |
| 構　造　区　分 | □ オープン式（Ｓ）　　　□ エンクロージャ式□ 屋内用キュービクル式（Ｒ）□ 屋外用キュービクル式（Ｏ） |
| 原動機区分 | □ ガソリン機関（Ｇ）　　　□ ディーゼル機関（Ｄ）□ ガスタービン（Ｔ） |
| 始　動　方　式 | □ 電気始動式　　　　　　□ 空気始動式□ 油圧始動式 |
| 負荷の名称及び容量 |  |

　　　　備考　自家発電設備容量計算書を添付する。

　　　原動機仕様

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 型　　　　　式 |  | 認　定　番　号 |  |
| 定格出力 | PS  | 製　造　者　名 |  |
| 定格回転数 | rpm  | 冷　却　方　式 | □ 水 冷 式□ 空 冷 式 |
| 総排気量 | cc  |
| 燃料の種類 |  | 燃　焼　方　式 | □ 渦流室式□ 予燃焼室式□ 直接噴射式 |
| 燃料タンクの容量 | ℓ  |
| 燃料消費量 | ℓ／H  |

　　　発電機仕様

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 型　　　　　式 |  | 認　定　番　号 |  |
| 定　格　電　圧 | V  | 製　造　者　名 |  |
| 定　格　電　流 | A  | 容　　　　　量 | KVA  |
| 周波数 |  | 極　　　　　数 | P  |

　　　制御装置仕様書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 型　　　　　式 |  | 認　定　番　号 |  |
| 制　御　電　圧 | V  | 製　造　者　名 |  |

始動装置仕様

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 始　動　用蓄電池設備 | 充電装置 | 型　　　　　式 |  |
| 認　定　番　号 |  |
| 定　格　入　力 | 相　　　V  |
| 定　格　出　力 | V　　　A  |
| 充　電　方　式 |  |
| 製　造　者　名 |  |
| 蓄　電　池 | 種　　　　　類 |  |
| 形　　　　　式 | □ ベンド形　□ シール形 |
| 型　式　記　号 |  |
| 容量（セル数) | AH（　　　） |
| 製　造　者　名 |  |
| 空気始動装　　置 | 空　気　層 | 容器の種類 |  |
| 容量及び本数 | ℓ　　　本  |
| 常　用　圧　力 | MPa  |
| 安全弁動作圧力 | MPa  |
| 圧力降下警報用の設定圧力 | MPa  |
| 自動充気装置用の設定圧力 | MPa  |
| 製　造　者　名 |  |
| 空気圧縮機 | 型　　　　　式 |  |
| 駆　動　方　式 |  |
| 定　格　出　力 | kw  |
| 容　　　　　量 | ㎥／hr  |
| 圧　　　　　力 | MPa  |
| 製　造　者　名 |  |

　　　備考１　自家発電設備の始動装置として，始動用電源装置を設ける場合は，「蓄電池設備」の項に記入する。

　　　　　２　空気層の容器の検定書（写）を添付する。

　　　自家発電設備の保有距離

|  |  |
| --- | --- |
| 保有距離を必要とする部分 | 保有距離 |
| キュービクル式の周囲 | 操作を行う面 | ｍ  |
| 点検を行う面 | ｍ  |
| 換気口を有する面 | ｍ  |
| キュービクル式とこれ以外の変電設備及び蓄電池設備の間 | ｍ  |
| キュービクル式以外 | 発電機と原動機の相互間 | ｍ  |
| 発電機本体の周囲 | ｍ  |
| 燃料タンクと原動機の相互間 | ｍ  |
| 操 作 盤 | 操作を行う面 | ｍ  |
| 点検を行う面 | ｍ  |
| 換気口を有する面 | ｍ  |

８．蓄電池設備

　　　蓄電池設備仕様書

|  |  |
| --- | --- |
| 用途区分 | □ 直流電源装置　　□ 逆変換装置　　□ 始動用電源装置 |
| 構造区分 | □ キュービクル式　　□ オープン式 |
| 仕様区分 | 型式記号 |  |
| 認定番号 |  |
| 定格出力 | □ AC　 □ DC　　　　　　V　　　　　A　 |
| 容　　量 | AH |
| 製造者名 |  |
| 製 造 年 |  |
| 構造区分 | 充電装置 | 型式記号 |  |
| 定格入力 | ∮　　　　V  |
| 定格出力 | A　　　　V  |
| 充電方式 |  |
| 整流方式 |  |
| 冷却方式 |  |
| 製造者名 |  |
| 蓄 電 池 | 種　　　　類 |  |
| 形　　　　式 | □ ベンド形　□ シール形 |
| 形式記号 |  |
| 認定番号 |  |
| 容量（セル数) | AH　（　　　　）　 |
| 製造者名 |  |
| 負荷の名称及び容量 |  |

　　　備考１　蓄電池容量計算書を添付する。

　　　　　２　蓄電池の充電回路は，専用回路とする。

　　　　　３　自家発電設備の始動用の蓄電池設備には，「自家発始動用」と名称銘板により表示する。

　　　　　４　屋外用のものにあっては，「屋外用」と表示する。

　　　　　５　オープン式のものにあっては，不燃材料で区画され，かつ，窓及び出入口に甲種防火戸又は乙種防火戸が設けられた専用室に設ける。

　　　蓄電池設備の保有距離

|  |  |
| --- | --- |
| 保有距離を必要とする部分 | 保有距離 |
| キュービクル式の周囲 | 操作を行う面 | ｍ  |
| 点検を行う面 | ｍ  |
| 換気口を有する面 | ｍ  |
| キュービクル式とこれ以外の変電設備及び発電設備の間 | ｍ  |
| キュービクル式以外 | 充電装置 | 操作を行う面 | ｍ  |
| 点検を行う面 | ｍ  |
| 換気口を有する面 | ｍ  |
| 蓄 電 池 | 点検を行う面 | ｍ  |
| 列の相互間 | ｍ  |
| その他の面 | ｍ  |

９．添　付　図　書

　　□　受電設備単線結線図　　　　　□　非常電源回路系統図

　　□　非常電源設備機器図　　　　　□　設置場所詳細図

　　□　非常電源容量計算書